



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年2月6日

上場会社名 株式会社ZOA 上場取引所 東
コード番号 3375 URL <http://www.zoa.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）伊井 一史
問合せ先責任者 （役職名）取締役執行役員管理本部長 （氏名）安井 明宏 TEL 055-922-1975
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,223	8.8	423	48.6	428	47.4	291	45.7
2025年3月期第3四半期	6,638	5.2	284	△19.0	290	△18.6	200	△20.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	231.96	—
2025年3月期第3四半期	159.58	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	5,321	3,152	59.2
2025年3月期	5,423	2,933	54.1

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 3,152百万円 2025年3月期 2,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期（予想）				75.00	75.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2026年3月期の配当予想につきましては、本日（2026年2月6日）公表いたしました「配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 2025年3月期期末配当は創立40周年の記念配当を含めた合計となります。

3. 2026年3月期の業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	△3.0	470	9.7	470	8.2	320	7.7	254.81

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	1,454,000株	2025年3月期	1,454,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	195,567株	2025年3月期	198,167株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	1,257,355株	2025年3月期3Q	1,254,802株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間（2025年4月1日～2025年12月31日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善等は進んでいるものの、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費等の上昇による物価上昇の影響により消費意欲は低調に推移しており、先行き不透明な状況となっております。

このような状況下で当社は、主力の小売事業におけるパソコン事業ですが、Windows 10サポート終了を2025年10月14日に迎えて、パソコン本体の販売が大幅に増加し、売上高を大きく伸ばしました。パソコン販売時のサポート添付率も高い実績で推移したため、利益面でも大きな成果を上げました。

直近ではメモリ、SSD・HDDの価格が継続的に上昇を続けており、市場在庫が枯渇する中でゲーミングパソコンや各種パーツ類の在庫確保を図ることで売上高を伸ばすことができています。

一方、不動産事業においては、累計で前年同期比7.7%減と前年に及ばないものの、当第3四半期において大型案件を1件成約したことで、第3四半期会計期間（10月～12月）においては前年比274.4%増加となっております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績については、売上高7,223,425千円（前年同期比8.8%増）、経常利益428,619千円（前年同期比47.4%増）、四半期純利益291,667千円（前年同期比45.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1. 小売事業

小売事業全体の売上高は6,698,457千円（前年同期比10.4%増）となりました。各事業の実績は次のとおりであります。

（パソコン事業）

パソコン事業の売上高は3,583,483千円（前年同期比15.0%増）となりました。

パソコン事業においては、Windows 10サポート終了となる2025年10月14日をピークとして買い替え需要が急増し、パソコン本体の販売が好調に推移しました。

当社においては、ノーブランドではあるものの高性能で低価格なコストパフォーマンスの高いオリジナルパソコンを展開し、多くのお客様にご購入いただいております。店頭販売台数の6割以上をオリジナルパソコンが占めており、性能面でも価格面でもお客様のニーズに適した商品として高い評価をいただいております。また、メーカー製品に比べて利益率も高いため、利益面でも貢献度の高い商品となっております。

加えて当社の強みとなっている初期設定や古いパソコンからのデータ移行等のサポートサービスにはたくさんのご依頼をいただいております。サポート対応の人員を増やして対応をしております。

また、直近ではメモリ、SSD・HDDの価格が継続的に上昇を続けており、市場在庫が枯渇する中でゲーミングパソコンや各種パーツ類の在庫確保を図ることで売上高を伸ばすことができています。

（バイク事業）

バイク事業の売上高は130,823千円（前年同期比25.3%減）となりました。

バイク事業においては、店頭販売では品揃えに限界があるため、通信販売へ誘引しております。一部店舗では取り扱いを中止しており、その影響により店頭でのバイク用品の売上高は減少傾向にあります。

（インターネット通信販売事業）

インターネット通信販売事業の売上高は2,984,150千円（前年同期比7.4%増）となりました。

インターネット通信販売事業においては、パソコン本体やプリンタ、外付けHDD等のパソコン関連商品の売上と掃除機や電子レンジ等の通信販売で人気のある家電商品の売上が増加しました。

また、価格高騰が続いているメモリ、SSD・HDD等のパソコンパーツの注文も増加しており、売上高を押し上げております。

2. 不動産事業

不動産事業の売上高は524,968千円（前年同期比7.7%減）となりました。

不動産事業においては、累計で前年に及ばないものの、当第3四半期において大型案件を1件成約したことで、第3四半期会計期間（10月～12月）においては前年比274.4%増加となっております。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて101,862千円減少し、5,321,612千円となりました。その主たる要因は、売掛金が56,859千円、販売用不動産が26,251千円それぞれ増加し、現金及び預金が68,388千円、商品が338,207千円減少したこと等によるものであります。

負債については、前事業年度末に比べて320,403千円減少し、2,169,411千円となりました。その主たる要因は、買掛金が67,221千円、未払法人税等が13,514千円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が286,692千円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産については、前事業年度末に比べて218,541千円増加し、3,152,200千円となりました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己資本比率は59.2%となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年5月13日に公表いたしました「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載した業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,246,734	1,178,345
売掛金	504,157	561,017
商品	1,928,075	1,589,868
販売用不動産	14,865	41,116
その他	194,287	274,816
貸倒引当金	△280	△346
流動資産合計	3,887,839	3,644,818
固定資産		
有形固定資産		
土地	754,978	829,676
その他(純額)	164,805	161,069
有形固定資産合計	919,784	990,746
無形固定資産	10,228	6,268
投資その他の資産	605,621	679,778
固定資産合計	1,535,634	1,676,793
資産合計	5,423,474	5,321,612
負債の部		
流動負債		
買掛金	630,220	562,999
1年内返済予定の長期借入金	406,730	361,716
未払法人税等	84,955	71,441
賞与引当金	32,355	12,977
契約負債	290,775	297,570
その他	158,679	216,429
流動負債合計	1,603,715	1,523,133
固定負債		
長期借入金	771,698	530,020
長期未払金	4,133	4,133
退職給付引当金	110,268	112,124
固定負債合計	886,099	646,277
負債合計	2,489,814	2,169,411
純資産の部		
株主資本		
資本金	331,986	331,986
資本剰余金	324,422	325,166
利益剰余金	2,519,217	2,722,976
自己株式	△259,346	△255,944
株主資本合計	2,916,278	3,124,185
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,380	28,015
評価・換算差額等合計	17,380	28,015
純資産合計	2,933,659	3,152,200
負債純資産合計	5,423,474	5,321,612

(2) 四半期損益計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,638,738	7,223,425
売上原価	4,918,842	5,310,905
売上総利益	1,719,895	1,912,520
販売費及び一般管理費	1,435,173	1,489,505
営業利益	284,722	423,014
営業外収益		
受取手数料	4,553	4,599
有価証券利息	—	2,646
受取配当金	3,634	3,417
その他	954	438
営業外収益合計	9,142	11,101
営業外費用		
支払利息	2,985	5,496
営業外費用合計	2,985	5,496
経常利益	290,878	428,619
税引前四半期純利益	290,878	428,619
法人税等	90,630	136,951
四半期純利益	200,248	291,667

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	23,234千円	21,962千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,069,785	568,952	6,638,738
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,069,785	568,952	6,638,738
セグメント利益	185,816	98,905	284,722

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント		合計
	小売事業	不動産事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,698,457	524,968	7,223,425
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	6,698,457	524,968	7,223,425
セグメント利益	370,076	52,937	423,014

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。